

平成 28 年 7 月

教育委員会定例会会議録

日 時 平成28年7月27日 (水)  
午前10時00分～10時30分  
場 所 教育委員会 会議室



平成28年7月 豊田市教育委員会 定例会 会議録

開会日時 平成28年7月27日(水) 午前10時00分  
閉会日時 平成28年7月27日(水) 午前10時30分  
場 所 豊田市役所 教育委員会 会議室(東庁舎6階)

■ 出席委員

教 育 長	福 嶋 兼 光
教育長職務代理者	加 藤 直 樹
委 員	豊 田 彬 子
委 員	藤 田 由美子
委 員	神 崎 恭 紀

■ 説明のために出席した職員

1 : 教育行政部	教育行政部長	宮川 龍也
	教育行政部副部長	大谷 哲也
	教育政策課長	佐藤 英之
	文化振興課長	久野 賢児
	文化財課長	森 泰通
	スポーツ課副課長	後藤 直樹
	図書館長	堀野 強
	美術館副館長	伊藤 達也
2 : 学校教育部	学校教育部長	山本 浩司
	学校教育部副部長	太田 庸介
	学校教育課長	鈴木 直樹
	教育センター所長	杉浦 俊孝
	青少年相談センター所長	久野 友士
	学校づくり推進課長	竹内 寧
	保健給食課長	奥村 洋
3 : 社会部	生涯学習課長	南 良明
4 : 子ども部	子ども部副部長	杉坂 盛雄

■ 事務局：書記

教育政策課副主幹	藤谷 公寿
教育政策課担当長	古井 祐巳子
教育政策課主査	志村 和彦

■ 傍聴者： なし

## 議事日程

- 1 開 会
- 2 前回会議録（6月定例会）の承認について
- 3 議 事

番 号	案 件
議案第21号	学校教科用図書の採択について

- 4 その他報告事項
  - (1) 審議会結果報告について
    - ① 豊田市教育行政計画審議会
    - ② 豊田市奨学金審査委員会
    - ③ 豊田市図書館協議会

- 5 閉 会

平成28年7月

## 豊田市教育委員会定例会会議録

### 1 開 会

福嶋教育長：ただいまから平成28年7月豊田市教育委員会定例会を開会いたします。

### 2 前回会議録の承認について

福嶋教育長：前回会議録の承認を行います。

前回会議録につきましては、お目通しをいただくために事前に送付いたしました。委員の皆様からご意見等の連絡はありませんでしたが、この内容でご異議ありませんか。

**全委員異議なし**

福嶋教育長：異議もないようですので、前回会議録を承認します。

### 3 議 事

福嶋教育長：議案第21号「学校教科用図書の採択について」を議題とします。

議案第21号について担当課から説明をお願いします。

**学校教育課長、説明**

内容：平成29年度に豊田市立小学校、中学校及び特別支援学校が使用する教科用図書を採択したい。

福嶋教育長：説明が終わりましたので質疑を許可します。

加藤 委員：教科書需要数については、現在の児童生徒数を報告されるのか、転校生や紛失等の分も考慮して数量を設定されるのでしょうか。

鈴木 課長：需要数につきましては、締切時点での現在数を報告しています。また、その後も数量の調整をしまして、最終的には4月1日時点の児童生徒数と合うようにしています。

福嶋教育長：関連して質問しますが、教科書は無償で国が支給するということが前提なので、途中で児童生徒が転校してきたときには、その都度指定の教科書が支給されることになるのですか。

鈴木 課長：市内での転校であれば教科書は同じですが、市外や県外になりますと、教科書が異なる場合があり、転出の際は前籍校で使用教科書一覧を発行する決まりになっ

ています。転入先の教育委員会は、その一覧を確認し教科書が異なる場合に無償支給する仕組みになっています。

福嶋教育長：それでは、議案第21号につきましては、原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

**全委員異議なし**

福嶋教育長：異議もないようですので、議案第21号は原案のとおり可決します。

#### 4 その他報告事項

福嶋教育長：その他報告事項に移ります。

(1) 審議会結果報告①豊田市教育行政計画審議会について、担当課から説明をお願いします。

**教育政策課長、説明**

内容：教育行政計画の概要、策定スケジュール、教育に関するアンケート調査について協議したことを報告した。

福嶋教育長：説明が終わりましたので、質問等がありましたらお願いします。

**質問なし**

福嶋教育長：続きまして、②豊田市奨学金審査委員会について、担当課から説明をお願いします。

**教育政策課長、説明**

内容：平成28年度豊田市奨学生の選考を行ったことについて報告した。

福嶋教育長：説明が終わりましたので、質問等がありましたらお願いします。

神崎 委員：2点について伺います。1点目は、大学生の新規採用者数（17名）が申請者数（38名）に対して半分以下であるのはなぜでしょうか。2点目は、高校、大学生の継続は、通常全員が継続になるのではないかと思います。継続できていない生徒がいるのはなぜでしょうか。

佐藤 課長：まず1点目の大学生の新規採用者数については、募集段階では定員15名ということで募集をかけておりました。定員と申請者数がアンマッチだという状況につきましては、次年度以降の検討課題であると思っています。

2点目につきましては、継続の場合も成績と家計状況の基準を満たしているか

を審査します。その結果、高校生につきましては2名、大学生につきましては4名が基準を満たさず認定されませんでした。

藤田 委員：奨学金返還状況についてはいかがですか。

佐藤 課長：平成24年度までは貸付型の奨学金制度であったため、現在も奨学金返還事務は継続して行っております。平成27年度末現在で、過年度からの繰越も含めまして、延べ11名、546万1,000円の滞納状況であるということを報告しました。

藤田 委員：この方たちは、きちんと就職できているのですか。

佐藤 課長：11名全員の現状を全て把握しているという訳ではないのですが、就職はできています。しかし、中には退職される方や別の道へ進まれる方もいますので、それだけではなく様々な要因があり返還が難しい状況となっています。

藤田 委員：今、社会現象になっているくらいなので、卒業後の把握や声かけもしっかりやっていただいて、社会から外れてしまう人が出てしまわないようにしてほしいと思います。

佐藤 課長：滞納の理由としましては、収入の減少等いろいろな要因があるとは思いますが、市としては借りたお金を返さないという状況は好ましくないものですから、経済状況に合わせて、例えば分割納付をしていただくとか、そういった相談をしながら進めております。

今後、滞納者との連絡はしっかりととりながら、債権の回収に努めてまいります。

加藤 委員：新規高校生は定員35人、新規大学生は定員15人に対して、採用者はそれぞれ36人と17人ということですが、規定上は特に問題ないのでしょうか。

佐藤 課長：定員につきましては、毎年要項を見直す中で決めてまいります。前年の実績等を見ながら決定しますので、例えば過去に定員20人だったものが、現在は35名まで増加してきているというような動きはあります。

今回、定員35名に対して36名の認定、定員15名に対して17名の認定をしたということにつきましては、成績と家計状況をランク付けした結果、35番目と36番目が同じ点数になってしまったため、同じ条件を満たしているということで今回は36名を認定いたしました。大学については15、16、17番目が同順位だったため、17名を認定しました。

今回、支給奨学生の継続の方で基準を満たさなかった方が若干名いたため、そちらの予算を流用する形で認定させていただいた、そういう動きになります。

福嶋教育長：基本的には、成績と家計状況を数値化して、その数値の高い人から順番に募集定員まで採用するという方法ですが、今回、たまたまボーダーのところで同点の人が複数出てしまったため、定員を超える採用をしましたが、今後の課題として、同点のときに家計基準を優先するのか、成績基準を優先するのかというあたりは、来年度に向けて検討するよう指示します。

福嶋教育長：それでは、次に移ります。③豊田市図書館協議会について、担当課から説明をお願いします。

**図書館長 説明**

内容：平成27年度事業実績及び図書館システムの更新についての2点を議題とし、協議したことを報告した。

福嶋教育長：説明が終わりましたので、質問がありましたらお願いします。

**質問なし**

福嶋教育長：以上で事前に報告のありました案件については全て終了いたしました。

平成28年7月豊田市教育委員会定例会を閉会します。

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成28年8月24日

豊田市教育委員会  
教育長

福嶋兼光